

5. 技術者の誇り

ホンダと言えば、今日では自動車メーカーとして世界的に有名だが、ホンダはもともと自転車に付けるエンジン販売会社として



出発した。そのエンジンを開発したのは、ホンダの創業者でもある本田宗一郎だ。本田と車の関わりは、東京にあった自動車修理工場から始まる。本田は1922年からこの修理工場に6年間勤務し、自動車修理や整備の技術を習得した。その後、故郷の静岡に戻り、自動車修理工場を開き修理工場を大きくした。しかしながら、さらなる高度な技術の必要性を感じ、1937年、浜松高等工業高校(現静岡大学工学部)の聴講生として、3年間金属工学の研究に努めた。その結果、1947年に自転車につける補助エンジンの開発に成功し、1948年に現在のホンダの前身となる会社を設立した。その後、ホンダはオートバイ、自動車、小型ジェット機、そして二足歩行のロボットアシモまで、数々の製品を製造する大企業になった。

ほんだ だいきぎょう そうぎようしゃ けいえいしゃ けいえい
本田はホンダという大企業の創業者で経営者であるが、経営に
かん あと ふくしゃちょうふじさわたけお たよ ぶぶん おお ほんだ
関しては後のホンダ副社長藤沢武夫に頼る部分が多く、本田はという
と、自分自身は技術者だと 考 えていたようだ。そして、技術者であ
ることに誇りを持っていたようで、こんなエピソード *が^{のこ}残っている。
ねん ながねん ほんだ かつやく たい せいふ くんしょう おく
1981年、長年の本田の活躍に対して政府から勲章が贈られることが
き ほんだ てんのう くんしょう しき しゅつせき
決まり、本田は天皇からその勲章をもらう式に出席することになっ
た。ほんだ ぎじゅつしゃ せいそう しろ さぎょうぎ えんぴふく
本田は技術者の正装は白い作業着であるから、燕尾服ではなくそ
の^{さぎょうぎ}作業着を着ていくと言い、^い周囲の^{しゅうい}者を^{もの}慌て^{あわ}させた。結局は^{けっきよく}周りの^{まわ}
ひとびと ^{せつとく}説得もあり、^{とうじつ}当日はもちろん^{えんぴふく}燕尾服で^{しき}式に^{しゅつせき}出席したそうだが、
ほんでん かんが かつ わ
本田の 考 え方がよく分かるエピソードである。

ほんだ ふじさわ にほん かいしゃ そうぎようしゃ めずら かいしゃ こじん
本田と藤沢は日本の会社の創業者にしては珍しく会社は個人の
も もの かんが も ほんだ ふじさわ じぶん こども
持ち物でないという 考 えを持っており、本田も藤沢も自分の子供を
ホンダに^{にゅうしゃ}入社させなかった。そして^{げんざい}現在でもこの^{かんが}考 え方^{かた} **は^{まも}守られ
ており、ホンダは^{じつりよくほんい}実力本位の^{さいよう}採用を^{おこな}行っている。また、^{かいしゃ}会社の^{しゃちょう}社長
は^{ぎじゅつしゃ}技術者でなければいけないという^{ふじさわ}藤沢の^{かんが}考 え方を^{かた}尊重し、^{そんちょう}本田が
^や辞めた後も、^{あと}社長には^{しゃちょう}技術者が^{ぎじゅつしゃ}選ばれている。ホンダは^{えら}色々な^{いろいろ}意味
にほん めずら かいしゃ
で日本でも 珍 しいタイプの会社かもしれない。

単語リスト：

修理（しゅうり）	Sửa chữa	大企業（だいきぎょう）	Công ty lớn, Doanh nghiệp lớn
整備（せいび）	Bảo dưỡng, bảo trì	創業（そうぎょう）	Thành lập
習得（しゅうとく）	Lĩnh hội, tiếp thu được	誇り（ほこり）	Niềm tự hào
故郷（こきょう）	Quê hương	勲章（くんしょう）	Huân chương
金属（きんぞく）	Kim loại	天皇（てんのう）	Thiên hoàng
補助（ほじょ）	Hỗ trợ, bổ trợ	正装（せいそう）	Trang phục truyền thống, lịch sự
前身（ぜんしん）	Tiền thân, tiền nhiệm	燕尾服（えんびふく）	Áo vest đuôi tôm